

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育実習指導 I (保育)	1	後期	演習	2	神崎 光彦

○授業の到達目標

1. 保育実習の意義と目的を理解し、実習に臨む際の心構えと基本的な姿勢について理解する。
2. 保育所等の役割や機能、保育者の専門性について理解する。
3. 実習記録の意義と書き方を学び、記録を通して自己の課題を明らかにすることについて理解する。
4. 子どもとの関わり方や基本的な援助方法、安全・衛生に関する基礎的事項について理解する。
5. 実習を通して、保育者としての資質及び専門性の向上の必要性について理解する。

○授業の概要

保育実習を円滑かつ有意義に進めるために基礎的な知識と態度を身につけることを目的とする。実習の目的や意義、保育者の役割と専門性について理解するとともに、実習記録の意義や記録方法、振り返りの視点について学ぶ。あわせて、実習に向けた心構えや基本的なマナー、守秘義務などについて理解を深め、実習体験を通して自己の課題を明らかにし、今後の学びへと繋げる力を養う。本授業の指導の方法としては全体指導を主とする。場合によっては個別指導への対応も必要に応じて検討する。実施する方法については、各回の授業において周知する。

○授業計画

(保育所実習の内容)

第1回 授業の目的と保育実習の意義

【事前学修】保育実習とは何か、テキストを読みノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第2回 保育実習の種類と目的

【事前学修】保育所と施設実習について調べ、ノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第3回 保育者に求められる基本的役割と専門性

【事前学修】保育者の専門性について調べ、ノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第4回 主体的に学ぶ態度と心構え

【事前学修】実習生としての心構えについて、テキストを読みノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第5回 守秘義務及び基本的マナー

【事前学修】守秘義務について調べ、ノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第6回 保育所等の役割と環境

【事前学修】保育所等の役割について調べ、ノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第7回 発達段階に応じた子どもの姿

【事前学修】0歳から5歳までの発達段階をノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第8回 子どもの遊びや生活を観察する視点

【事前学修】遊びの種類についてノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第9回 実習記録が学びを深める役割

【事前学修】実習記録の書き方についてテキストを読み、ノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第10回 事実を客観的に記録する方法

【事前学修】実習記録についてテキストを読み、ノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第11回 振り返りを通して自己の課題を明らかにする視点

【事前学修】実習記録についてテキストを読み、ノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第12回 指導案の構成とねらい

【事前学修】指導案の構成についてテキストを読み、ノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第13回 子どもの実態を踏まえた指導案作成の基本

【事前学修】指導案の基本事項についてテキストを読み、ノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第14回 実習での子どもの関わり方

【事前学修】テキストの事例を読み、自分だったらどのように関わるかノートにまとめる。

【事後学修】授業で取り扱った内容を見直し整理する。

第15回 実習に向けた自己の課題と目的

【事前学修】 実習に向けてこれまで学習したことをノートにまとめる。

【事後学修】 授業で取り扱った内容を見直し整理する。

○教員の実務経験と授業の関連

保育現場において実習担当として携わった経験を活かし、保育実習に関する記録の書き方や子どもとの関わり方、実習生としての心構えなどについて教授する。

○テキスト

「改訂版 幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド」著者代表 小櫃智子. (株)わかば社

○参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」(最新版)文部科学省. フレーベル館

「保育所保育指針解説」(最新版)厚生労働省. フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(最新版)内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館

○学生に対する評価

定期試験40% 授業内課題(実習に関する記録、指導案等)30% 受講態度30%